

広域振興局長

提出者 株式会社ミクニ 盛岡事業所
住所 〒020-0698 岩手滝沢市外山309
氏名 盛岡事業所長 野田 純孝

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	盛岡事業所	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県滝沢市外山309	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	2,485 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
滝沢工場	〒020-0698 岩手県滝沢市外山309	1,765 kℓ
大釜工場	〒020-0756 岩手県滝沢市大釜隆盛58-1	720 kℓ
-	-	- kℓ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別添）を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(2024) 年度				E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	引前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
	エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量					
	数値 A	単位 B	数値 C	単位 D				
原油(コンデンセートを除く)		kL		kL				
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL		kL				
揮発油(ガソリン)		kL		kL				
ナフサ		kL		kL				
ジェット燃料		kL		kL				
灯油	57.04	kL	2,082	kL	2,082	143		143
軽油	0.93	kL	35	kL	35	2		2
A重油	213.39	kL	8,301	kL	8,301	587		587
B・C重油		kL		kL				
石油アスファルト		t		t				
石油コークス		t		t				
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	11.00	t	551	t	561	33	33
	石油系炭化水素ガス		㎥ ³		㎥ ³			
液化天然ガス(LNG)			t	t				
	その他可燃性天然ガス		㎥ ³		㎥ ³			
石炭	輸入原料炭		t	t				
	原料炭		t	t				
	コークス用原料炭		t	t				
	吹込用原料炭		t	t				
	一般炭		t	t				
	国産一般炭		t	t				
輸入精運炭		t	t	t				
石炭コークス		t	t	t				
コールタール		t	t	t				
コークス炉ガス		㎥ ³		㎥ ³				
高炉ガス		㎥ ³		㎥ ³				
発電用高炉ガス		㎥ ³		㎥ ³				
転炉ガス		㎥ ³		㎥ ³				
その他の燃料	都市ガス		㎥ ³	㎥ ³				
	()							
	()							
黒液		t		t				
木材		t		t				
木質廃材		t		t				
バイオエタノール		kL		kL				
バイオディーゼル		kL		kL				
バイオガス		㎥ ³		㎥ ³				
その他バイオマス		t		t				
RDF		t		GJ/t				
RPF		t		GJ/t				
廃タイヤ		t		GJ/t				
廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t				
廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t				
廃油		kL		GJ/kL				
廃棄物ガス		㎥ ³		㎥ ³				
廃缶廃材		t		t				
水素		t		t				
アンモニア		t		t				
その他燃料								
小計①					10,969	766		766
産業用蒸気		GJ		GJ				
産業用以外の蒸気		GJ		GJ				
温水		GJ		GJ				
冷水		GJ		GJ				
地熱		GJ		GJ				
温泉熱		GJ		GJ				
太陽熱		GJ		GJ				
雪氷熱		GJ		GJ				
小計②								
電気事業者①	1,276.32	千kWh	11,027	千kWh	11,027	513		513
電気事業者② ※種別数が多い場合使用	8,603.93	千kWh	74,338	千kWh	74,338			
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh		千kWh				
太陽光		千kWh		千kWh				
水力		千kWh		千kWh				
風力		千kWh		千kWh				
その他		千kWh		千kWh				
小計③					85,365	513		513
合計 ④=①+②+③					96,335	1,279		1,279

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	2,485	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	1,279 t-CO ₂
エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	t-CO ₂
上記以外の二酸化炭素	t-CO ₂
メタンの排出量	t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量	t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量	t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量	t-CO ₂
合計	1,279 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通産省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

・2030年度目標(2016年度比50%)2024年度先行達成

【具体的な取組状況】

- ・エネルギー監視システムを活用した設備稼働最適化活動
- ・省エネルギー性能の高い設備への順次切り替え
- ・一般購入電力を100%再エネ電力へ切り替え
- ・リモートワーク制度継続

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

